

『ぼくのエリ 200歳の少女』『ボーダー 二つの世界』のヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト 原作・共同脚本

2024 エルサレム 映画祭  
2024 ヌーシャテル 国際ファンタスティック 映画祭  
2024 ノルウェー 国際映画祭 アマンダ賞

2024 リビエラ 国際映画祭  
2024 ヨーテボリ 映画祭  
2024 ファンタジー 映画祭

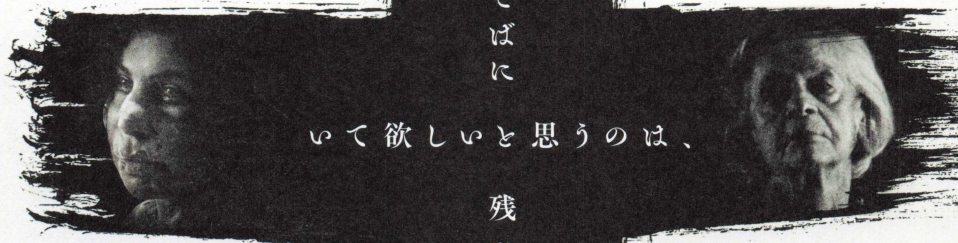
2024 サンダンス映画祭  
審査員大賞 ノミネート  
ワールドシネマドラマティック  
特別審査員賞 受賞



ずっとそばに

いて欲しいと思うのは、

残酷ですか。



『わたしは最悪。』レナーテ・レインスヴェ 主演

# アンデッド / 愛しき者の不在

テア・ヴィスタンダル 監督

Einar Film and Nordisk Film Presents a Film by Thea Hvastum "Handling The Undead" Bjørn Sundquist, Benno Brumm, Peter Brumm, Olga Damme, Rikar Pehr, Ines Dinkeld, Kim Hovsten, and Anders Engelsen Le Director Of Photography Eli Uthok Bekkevik Ed  
Editor Trude Johnsen, Thomas Grønmo Sound Design Ben Elton, Andrew Francis, Nik Vlahos Music By Peter Barkers Casting By Grieg Engdageren Production Design Laila Jensen Costume Design Ramon Uthok Make-up/Effect Design Metten Jonassen  
Make-up And Hair Design Lov Becker Knudsen Vfx Supervisor Ole Thorsager Line Producer Ole Sverre Berg Post Supervisor Hannele Lehengarderen Co producer Linnor Jung, Nicholas Alarsson, Pally Kotowski, Kristina Bergson, Lof Holm Jensen  
Executive Producer Steinar Gullmo, Rasmus Knigh, Nick Stumaker, Susan Wenzel, Jason Wald, Emily Thomson, Sarah Galvin, Torje John Apsle Lindqvist In Collaboration With Thea Hvastum Produced By Kristin Engblom, Curt Nøys Directed By Thea Hvastum

NEON 2024 Einar Film Nordisk Film Elinor 2024

© 2024 Einar Film, Film i Väst, Zentropa Sweden, Filmiki Athens, E.R.T.S.A. 提供: 東京アトル 東京テアトル 提供: 東北新社

# HÅNDTERING ♠ AV UDØDE

世界の映画祭で8受賞  
 北欧の鬼才と新星監督

16ノミネート、ZENEZが英国北米配給権を獲得！  
 期待の若手実力派女優によるアンサンブル

最上級。

美しい作品

メランコリー薫る

— The Playlist

知性と感情、  
 道徳心に

— Variety

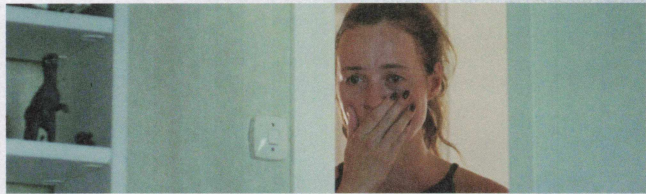
深く響く



第40回サンダンス映画祭で音楽担当が特別審査員賞を受賞、監督が審査員大賞にノミネートされた話題作がついに日本上陸！  
 A24、プラムハウスに続く独立系映画スタジオ【NEON】が英国と北米の配給権を獲得し、北欧アートホラー『テルマ』(17)、  
 『イノセント』(21)に続く新たな傑作の誕生を讃えた。脚本を監督と共同で手掛けたのは、大ヒット映画『ぼくのエリ 200歳の少女』(08)、  
 『ボーダー 二つの世界』(18)で知られるスウェーデンの鬼才ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト。本作は2005年に発表した同名小説の映画化である。  
 主演は第74回カンヌ国際映画祭で主演女優賞を獲得した『わたしは最悪。』(21)のレナーテ・レインスヴェ。今回長編デビューとなった  
 監督のテア・ヴィスタンダルとは旧知の中で、プライベートでも母でありながら、息子を亡くして鬱状態という難役を熱演した。

社会からの疎外感と愛の真意を潜ませた秀逸なストーリーと  
 35mmフィルムで描き出された恐ろしくも静謐な映像美

登場人物の感情や台詞が極力抑えられ、慎重に計算された構図で撮影された本作は、  
 35mmフィルムの質感とゆったりとしたカメラの動きで滲み出る美しさと不気味さを表現し、  
 まるでなくエモーションなラストまで絶え間なく命への問いをたたみかけてくる。  
 失った側の感情をゆさぶり、日本の怪談話も想起させる、非常に静かでポエティックなジャンルレス作品に仕上がっている。



Story H

現代のオスロ。息子を亡くしたばかりのアナとその父マラーは悲しみに暮れていた。墓地で微かな音を聞いたマラーは墓を掘り起こし、埋められていた孫の身体を家に連れて帰る。一方、別の場所でも不思議な現象が起きていた。交通事故に遭った女性が奇跡的に蘇生したり、教会で葬儀を終えたはずの死者が家に戻ってきたり…。愛する人の生還に喜ぶ家族だが、彼らは明らかに生前とは違っていた。



原作・共同脚本：ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト 監督・共同脚本：テア・ヴィスタンダル 出演：レナーテ・レインスヴェ、アンデルシュ・ダニエルセン・リー、ビヨーン・スヴェスト、ベンテ・ボシュ、イヴァール・バルス  
 2024/ノルウェー・スウェーデン・ギリシャ/カラー/シネスコ/DCP/ノルウェー語・スウェーデン語・フランス語・ベルギー語/98min © 2024 Einarr Film Film | Väst, Zentropa Sweden, Fankin Athens, ERT SA 配給：東京テアトル 提供：東北新社 (C) (R)

2025.1.17 Fri. Roadshow

ムビタケカード 11/22(金)発売予定 ※一部劇場を除く